

**平成 2 1 年度第 3 回生駒市都市計画審議会
会議録**

1 会議の年月日、開閉時刻及び場所

- (1)会議の年月日 平成 2 2 年 3 月 8 日 (月)
(2)開 閉 時 刻 午前 1 0 時 0 8 分から午前 1 1 時 4 0 分
(3)場 所 生駒市役所 4 階 4 0 1 ・ 4 0 2 会議室

2 委員の出欠

(1)出席者

(市 長)

(委 員) 増田会長・中谷副会長・下村委員・白本委員・久保(博)委員・
久保(昌)委員・田中委員・戸川委員・久委員・立見委員・
藤堂委員

(事務局) 佐和都市整備部長・森本都市整備部次長・林都市計画課課長
補佐・谷都市計画課計画係長

(説明者) 上野地域整備課長・中川地域整備課再開発係長・有山地域整
備課再開発係主査

古川水道局長・寺西下水道推進課長・井坂下水道推進課課長
補佐・河島下水道推進課計画係長

(2)欠席者

池本委員・中井委員・安若委員・出垣委員

3 会議の成立

○上記 2-(1)により、委員の過半数が出席され、本審議会は有効に成立して
いる。

(生駒市都市計画審議会条例第 6 条第 2 項)

4 会議の公開・非公開の別 公開

5 傍聴者数 1名

6 配布資料

- (1) 会議次第
- (2) 委員名簿
- (3) 資料1 第1号案件「大和都市計画生産緑地地区の変更」にかかる説明用資料
- (4) 資料2 その他(1)「大和都市計画第一種市街地再開発事業等の変更について（生駒駅前北口地区）」にかかる事前説明用資料
- (5) 資料3 その他(2)「大和都市計画下水道（生駒市公共下水道）の変更について」にかかる事前説明用資料

7 次第

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 諮問書の授受
- (4) 審議案件
第1号案件 大和都市計画生産緑地地区の変更について
- (5) その他
 - ① 大和都市計画第一種市街地再開発事業等の変更について（生駒駅前北口地区）（事前説明）
 - ② 大和都市計画下水道（生駒市公共下水道）の変更について（事前説明）
 - ③ その他

8 審議結果等

(1) 第1号案件 大和都市計画生産緑地地区の変更について

- ・ 事務局から概要説明
質疑なし、原案どおり可決

(2) その他(1) 大和都市計画第一種市街地再開発事業等の変更について(生駒駅前北口地区)(事前説明)

- ・ 担当課から概要説明
- ・ 質疑
 - 都市計画道路歩行者専用デッキのバリアフリーについての考え方について、身障者等の方への配慮も考え、第4地区側へも、エレベーターで降りられるよう検討すべき。
 - 今回の2地区における公共施設の配置計画についてどのようなものを考えているのか。特に隣接する中央公民館とのかかわり方については。
 - ⇒ 現在中央公民館の中にある図書室や、市民サービスコーナー等を今回計画している建物の中で配置していきたい。
 - 住宅部分の計画については、北東向きになり住宅としてはあまり良い向きとは言えない。生駒の核となる駅前なので、それなりのグレードをもった住宅としていくべき。
 - 道路交通問題について、今回の交通広場だけでなくパークアンドライド方式などについても検討したのか。
 - ⇒ 今回の案を検討する際に交通検証を行った結果としては、生駒駅前の渋滞の原因については送迎や買い物などの一時停止が原因であることがわかってきたことから、今回乗降施設としての交通広場の整備について検討した。
 - 今回の再開発計画において、防災面からはどのように検討されたのか。

- ⇒ 再開発事業自体が、既存の狭隘な道路や木造家屋等の密集を解消しようとするものであり、防災の観点について考えられたものであると認識している。ただ、広場など、有事の際の防災的な活用などについてはまだ特に検討していない。
- 今後、特定建築者を募集していく際に、募集要項において今日の議論で出てきたような部分について盛り込んで条件提示していけば、良いものが提案されていくのではないか。
- 今回の変更計画のコンセプトの中で、「魅力ある都市拠点の形成」というものがあるが、現在生駒市では景観計画の策定作業が進められていることから、そういった観点についてももう少し盛り込んでいくべきではないか。
- 屋上緑化・壁面緑化についてはどの程度まで考えているのか。特に駐車場についても考えていくべき。

(3) その他(2) 大和都市計画下水道(生駒市公共下水道)の変更について(事前説明)

- ・ 担当課から概要説明
- ・ 質疑
 - 今回削除の対象となっている道路の部分については、「汚水が発生しない区域」ということになっているが、道路排水というものは、環境面から考えると排気ガスの蓄積などから必ずしもきれいなものではなく、言葉の使い方、認識について考えて欲しい。
 - 現在の下水道区域は、市街化区域についてはおおむね含まれているが、高山町の計画区域を拡大していくことは考えられるのか。
- ⇒ 本市の財政状況や費用対効果を考えると、現時点で計画区域に含んでいくことは難しい。